



群馬県立心臓血管センター

# 地域医療連携たより

No. **55**

当センターは《地域医療支援病院》です。

群馬県立心臓血管センター

地域医療連携室

〒371-0004 群馬県前橋市亀泉町甲 3-12

TEL:027-269-7455 (内線 2040・2043) / FAX:027-269-7286

URL:<http://www.cvc.pref.gunma.jp/>

## 目次

- ▶ 地域医療連携室より新年挨拶
- ▶ 内藤院長より年始挨拶
- ▶ 河口室長より年始挨拶
- ▶ 群馬県立心臓血管センター第 13 回登録医大会の報告
- ▶ ミニレクチャー「当院における MICS(低侵襲心臓手術) ～胸腔鏡を用いた僧帽弁形成術について～」  
第 70 回群馬県立心臓血管センター症例検討会ミニレクチャーより

心臓血管外科第二部長 山田靖之

- ▶ 令和 2 年 1 月度外来担当医一覧表

明けましておめでとうございます  
 本年も変わらぬご厚誼のほど  
 何卒よろしくお願い申し上げます





旧年中は大変お世話になりました。  
本年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

## 群馬県立心臓血管センター 院長 内藤 滋人

令和2年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、群馬県立心臓血管センターとの地域医療連携におきまして、患者さんの紹介、逆紹介に多大なるご協力をいただき大変ありがとうございました。元号も令和に変わり、職員一同気持ちも新たに診療に取り組んでいます。本年も引き続き、宜しくお願ひ申し上げます。

心臓血管センターは平成19年より、地域医療支援病院として病診・病病連携を推進しております。令和元年までの間に、登録医師数、医療機関は着実に増加し、現在658名の登録医の先生方および521の医療機関と連携していただいております。日頃のご支援に重ねて感謝申し上げます。

平成31年、令和元年も、地域医療連携室を中心として、様々な企画を催させていただきました。

年4回行った症例検討会では、院内の医師により、当センターで施行している最新医療に関するレクチャーを行いました。「心筋血流予備量比(FFR)による虚血評価と治療予後」、「当院におけるMICS(低侵襲心臓手術)」などのミニレクチャーとともに、当センターで経験した興味深い症例を紹介させていただきました。また年2回、院外講師による学術講演会も企画させていただきました、登録医の皆さまと最新的话题を共有できたものと自負しております。さらに、10月には登録医大会を前橋テルサにて開催し、多くの登録医の先生方と交流することができ、大変有意義でありました。

地域医療連携の中で救急隊の方々との情報共有も非常に大切と考えて

おり、昨年3回救急隊の方々を対象とした勉強会を企画させていただきました。ペースメーカーや植込み型除細動器の特徴や管理、弁膜症の病態といった、当センターの救急医療に直結した話題を提供し、救急隊の方々からは高評価をいただきました。また一昨年から、救急隊からの直結の電話回線を設け、救急医療の充実を図っています。

心臓血管センターでは常に最新の医療技術の導入を積極的に行っています。昨年のトピックスとしましては、心房細動の患者さんに対する左心耳閉鎖デバイス(Watchman)が挙げられます。左心耳閉鎖デバイスは、抗凝固療法が持続困難な患者さんの福音となるものと考えています。本年もまた新しい技術導入が控えておりますので、またご紹介したいと思っております。

登録医の先生方のお陰さまで、昨年の新規紹介患者数は順調な増加を示しています。これも先生方のお力添えの賜物と感謝しております。昨年より地域連携・入退院センターとして組織を充実させ、先生方との連携をスムーズかつ親密にしていきたいと考えています。登録医の先生方限定の予約紹介専用の電話回線を設けさせていただいておりますので(027-212-3018)、今後ともご活用いただきたく存じます。

本年も当センター職員一丸となって、地域医療連携に取り組む所存でありますので、昨年が増しての病診・病病連携を宜しくお願ひ申し上げます。

登録医の先生方の益々のご発展を祈念しまして、令和2年年頭の挨拶とさせていただきます。

≫内藤 滋人 (ないとう しげと)

群馬県立心臓血管センター院長

日本内科学会認定医 / 日本循環器学会専門医 / 日本不整脈学会専門医 / ICD認定医 / CRT認定医

外来診療日：月・火・水・木・金 (詳細は外来担当医一覧をご参照ください)



# 新年明けましておめでとうございます。 本年も何卒 よろしくお願ひ申し上げます



## 循環器内科第一部長 地域医療連携室長 河口 廉

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は当センターの医療連携および、症例検討会、学術講演会等にご協力を賜りあらためて厚く御礼申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

当センターは循環器疾患を中心とした専門性と質の高い医療を目指しており、循環器内科、心臓血管外科ともに群馬県内では唯一当センターでのみ施行可能な最新治療法を数多く導入しております。今後もさらに先生方のニーズに対応できるよう最新の治療の導入を積極的に行ってまいります。

地域医療連携室では、それらの治療法を医療連携を通して先生方の診療の一つのオプションとして利用いただき、より多くの患者さんに役立てていただくべく先生方とともに地域医療に貢献できるよう対応してまいります。

精査、加療が必要な心・血管疾患の患者さんがいらっしゃいましたら、ご紹介いただきたくお願ひ申し上げます。速やかに精査加療を行い、可能な限り早期に逆紹介をさせていただきます。定期フォローが必要な患者さんにつきましては、先生方と併診させていただきます。

また、緊急症例につきましては、従来通り24時間心疾患救急医療体制を継続してまいりますので、緊急対応が必要な際にはいつでもご連絡ください。

今後必要とされる地域包括ケアシステムにおいては、病診・病病連携のさらなる強化が必須で、専門治療の必要な患者さんを当センターが速やかに受け入れ、安定した状態で、先生方にバトンを渡すというスムーズな連携が必要です。

地域医療連携室では、引き続き、先生方への当センター診療体制に関する情報提供、紹介患者に関する情報提供、その他の医療連携業務を行ってまいります。また、“顔の見える連携”も非常に大切と考えており、本年も登録医大会をはじめ症例検討会、学術講演会等を継続して行ってまいりますので、ご多忙とは存じますが、ご参加いただければ誠に幸甚です。

本年も引き続き当センターの医療連携にご協力のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

末筆とはなりますが、本年が皆様にとりまして健やかで素晴らしい一年になることをご祈念申し上げます。



》河口 廉 (かわぐち れん)

循環器内科第一部長 地域医療連携室長

日本内科学会認定医/日本循環器学会専門医/日本心臓血管インターベンション治療学会専門医/胸部ステントグラフト指導医/腹部ステントグラフト指導医/浅大腿大動脈ステントグラフト実施医/経カテーテルの大動脈弁置換術指導医/経皮的心房中隔欠損閉鎖術認定医/経皮的な大動脈管閉鎖術認定医

外来診療日：月・火・金 (詳細は外来担当医一覧をご参照ください)



# 第13回 登録医大会のご報告

令和元年10月15日（火）、前橋テルサにて第13回登録医大会を開催しました。

たくさんの登録医の先生方のご出席を賜り、誠にありがとうございました。

日頃、お世話になっている登録医の先生方と直接に懇談できる貴重な機会となりました。来年度も、同時期に開催を予定しておりますので、多くの先生方にご出席いただければ幸いです。

今後とも、当センターの地域医療連携にご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





## ミニレクチャー

# 当院におけるMICS

(Minimally Invasive Cardiac Surgery: 低侵襲心臓手術)

～胸腔鏡を用いた僧帽弁形成術について～

➤ 心臓血管外科第二部長 山田靖之



### MICS とは

胸骨正中切開（図1）は行わず、肋間からアプローチし、5～8cmの小さな皮膚切開で行うことが可能です（図2）。特に女性では乳房の下縁に切開線をおくことで乳房の形を温存することが可能です（図3）。また傷自体が乳房もしくは女性用下着の着用により隠れるため美容的にも満足度の高い切開であると考えています。



胸骨正中切開(皮切20～25cm)

図1 従来の開心術におけるアプローチ



右肋間小開胸(皮切5～8cm、右大胸筋下縁)

図2 MICSのアプローチ(男性)



右肋間小開胸(皮切5～8cm、右乳房下縁)

図3 MICSのアプローチ(女性)

### 特徴

疼痛が少ない、退院が早い、出血が少ない、感染、特に致命的合併症と言われる縦隔炎の心配がない、術後心房細動の発生率が少ないと言われています。胸骨正中切開では術後に2～3ヶ月の激しい運動や自動車運転の制限を必要としますが、MICSではこれらの制限を必要としません。群馬県は車保有台数、免許保有者数ともに日本一であり、4人に1人が100mを移動するために車を使い、2人に1人が500mを移動するために車を使うというように自動車依存度が非常に高いと言われています。術後に運転制限がないということは群馬ではとても大切なことであると考えています。

### 適応疾患

現在は一番症例が多く、良い適応とされる僧帽弁閉鎖不全症に限って施行していますが、今後三尖弁閉鎖不全症、心房中隔欠損症、左房粘液腫に適応を拡大していく予定です。

### 適応外

視野展開が難しいと考えられる著名な肥満、開胸の既往のあるもの、再手術例、呼吸機能低下例、低左心機能例を適応外としています。また僧帽弁手術のみならず、冠状動脈バイパス術や胸部大動脈瘤手術を必要とするものもMICSの同一視野では行えないため適応外としています。

### まとめ

MICSは従来の心臓手術に比べて早期退院、早期社会復帰が可能で、美容上有利であるというメリットがあります。当院ではこの治療を積極的に取り入れています。

# 群馬県立心臓血管センター 外来担当医一覧表

※業務都合等に変更となる場合もありますので、確認のうえ御連絡ください。

令和2年1月1日 現在

診療科	医師名	月	火	水	木	金	診療科	医師名	月	火	水	木	金		
循環器内科	虚血性患門	ほしぎま 星崎 ひろし 洋		●		●	●	心臓血管外科	えづれ 江連 まさひこ 雅彦		第1第2	第3第4	←9:00~		
		かわぐち 河口 れん 廉	●	●			●		やまだ 山田 やすゆき 靖之			第3除く			
		くりばら 栗原 じゅん 淳	●			第1第3			※受付12:30~ (急患を除く)	ほしの 星野 じょうじ 丈二			●		
		やの 矢野 ひでき 秀樹			第1第3				午後	おかだ 岡田 しゅういち 修一			第2除く	←第1週のみ 10:00~	
		みやいし 宮石 ゆうすけ 裕介		●			●		下肢静脈瘤	かねこ 金子 たつお 達夫			●		
		おおしま 大島 しげる 茂			●	●			外消化器外科	はせがわ 長谷川 ゆたか 豊			第1第3	第2除く	
		とやま 外山 たくじ 卓二			第1,第3第4				午前	おぎはら 荻原 ひろし 博			●		●
		ないとう 内藤 しげと 滋人	●	●	●	●	●		午後	すずき 鈴木 じゅんこ 純子	●			●	
		なかむら 中村 こうき 紘規				●			午前	すとう 須藤 としなぐ 利永		●			
		たけ武 ゆたか 寛			●				整形外科	ありた 有田 さとる 寛	●		●	●	
	不整脈門	みき 三樹 ゆうこ 裕子	●					午後	すずき 鈴木 ひでき 秀喜	●	●		●	●	
		ごとう 後藤 こうじ 貢士	●				●	午前	たけち 武智 るみ 瑠美		●	●		●	
		ささき 佐々木 たけひと 健人					●	循環器内科	あだち 安達 ひとし 仁			●			
		もとだ 元田 ひろゆき 博之		●				糖尿病指導	むらた 村田 まこと 誠				●		
		いのうえ 井上 みつほ 満穂					●	高血圧	おの 小野 ぜんべい 善平		●				
		おかざき 岡崎 よしのり 善則		●				弁膜症・先天性心疾患・肺高血圧症	やました 山下 えいじ 英治	●					
		あだち 安達 ひとし 仁		●		●		心不全	やました 山下 えいじ 英治		●			第2第4	
		むらた 村田 まこと 誠			●			ペースメーカー	あだち 安達 ひとし 仁			●			
		午前8時30分~11時							午後	ないとう 内藤 しげと 滋人				第2	第2
		循環器内科担当医	●	●	●	●	●		うぶかた 生方 さとし 聡					第3	第4
診療科	医師名	月	火	水	木	金	診療科	医師名	月	火	水	木	金		

1 受付時間は、午前8時30分~11時までです。

なお、予約再来の方は午前8時15分から受付いたします。

【外来休診日】

土曜、日曜、祝日  
年末年始(12/28~1/5)

2 紹介状持参の患者さんは、初診・再来にかかわらず、総合受付6番(地域医療連携窓口)で受付いたします。

3 当院は「紹介型外来」を行っており、紹介状持参の患者さんを優先して診療いたします。

地域医療連携室では、先生方から事前に患者情報を御連絡いただいたうえで、診察日時を予約いたします。下記の予約紹介専用電話、もしくはFAX用診察申込書またはFAX用検査予約申込書《MRI・CT・シンチグラム・骨密度(DXA法)》を御利用ください。

円滑に診療を進めるためにも、事前予約を御活用ください。

なお、午後5時以降、または休診日にお送りいただいたFAXへの対応は、翌日または休診日明けとなります。

あらかじめ、ご了承ください。

患者さんの待ち時間を少なくするために、御協力をお願いいたします。